

第3回A地区事業推進チーム会議（12月14日）の概要

出席者 A地区居住者等 9名
茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議 折原代表、岩本委員
茅ヶ崎市企画調整課、海浜課

場 所 漁業協同組合組合倉庫 2階会議室

議 題 1 茅ヶ崎海岸グランドプランの概要案について
2 その他

概 要

事務局より、茅ヶ崎海岸グランドプランの全体像及び事業方策案について説明を行い、その後、意見交換を行った。主な意見等については、次のとおり

- ・茅ヶ崎海岸グランドプランの最初のイメージは、フィッシュセンター跡地の話で立ち上がったと思っている。この地区を自然海浜公園とすることには、反対である。我々の仕事場にそのような話を持ち込まないでほしい。ましてや、漁港西側の護岸を撤去するように言っているようだが、とんでもない話だ。昔のままの砂浜に戻すというのであれば、他の浜を対象とするべきである。ヘッドランド周辺のほうが人は多い。国道134号の北側にはマンションが沢山建っており、その部分には反対しないで、この周辺だけが対象となるのはおかしい。漁業者が働けなくなる。
- 自然海浜公園という名称が適切かは検討しているところである。辻堂海浜公園のようなイメージではない。
- ・自然海浜公園としての位置づけは、あまりよくない。また、あまり漁港周辺を整備されるのも困る。
- 公園の整備ではない。自然海浜地区のように昔の姿に戻していくのがねらいである。
- ・プランが立派すぎる。もっと素朴でよい。あれもこれもという感じだ。
- ・プランは、一つ一つ漁業協同組合に話してほしい。
- ・駐車場の減少はあり得ない。藤沢でも平塚でも駐車場のないところに客は来ない。東京の釣り宿は、駐車場がなくて廃業している。
- ・観光地引き網、遊漁船は、駐車場がないと客が来ない。荷物や大きなクーラーボックスを持って、国道を渡ってくるのは無理である。
- ・平塚の漁港は、市がかなり駐車場の台数を増やした。
- ・実際に住んでいる人の置かれた状況をもっと考えてほしい。自分が住んでいなければ、昔の風景がよいと言うだろう。
- プランでは、漁業者を守るのが前提となっている。また、海は危険なものであり、この中で安全安心の空間とするのは違うと思っている。行政としては、〇〇公園整備という名称をつけないと事業にならないという事情もあると聞いている。
- ・漁港周辺の空いている土地については、どのように利用する予定なのか。
- 市としては、漁港背後地の未占用地については、公共スペースとして考えていきたい。
- ・この周辺の地域で、昔から伝わる呼び名のようなものはあるのか。
- 「テントバ」、「マシタ」という呼び名はある。南湖院の患者が療養していたから「テントバ」と呼ばれていた。ヘッドランドの向いは、「マツサキ（マサキ）」。